



小学校高学年 ～中学生向け 年組

(127)

急速に普及する デジタル教科書

タブレット端末を利用したデジタル教科書



デジタル教科書 パソコンやタブレット端末に表示して使う教科書。学校教育法改正で、2019年4月から小中高校の授業で正式な教科書として使えるようになった。文部科学省は24年度に英語で先行導入、25年度には算数・数学でも導入を検討している。小学校教科書の場合、デジタル版は200～2千円ほどで、紙の教科書は平均403円。紙の教科書は無償配布。文科省はデジタル版も無償としたい考えだ。

文科省は2024年度に小学5年～中学3年の英語でデジタル教科書を導入する方針。全国の小中学生にパソコンやタブレット端末を1人1台配備する計画は既にほぼ完了しており、教育のデジタル化は一層進展

紙と併用、学習効果に期待

パソコンやタブレット端末で使うデジタル教科書について、全ての公立の小中高校などで導入した市区町村が、3月時点で本県の4市町(栃木、矢板、壬生、塩谷)を含む292に上ることが15日、文部科学省の公開データで分かった。昨年3月の31から急増している。急速な普及の一方で、活用法に悩む教員が多いことも判明した。読解力向上には、紙の教科書が適切との意見も強く、併用しながらどう学習効果を高めるか今後の活用が期待される。

自治体、全校導入

端末配備
1人1台

(2022年9月16日付・下野新聞5面)

記事は加工しています

デジタル教科書の特徴

長所	<ul style="list-style-type: none"> 文字や図、写真を拡大表示できる 音声や動画を視聴可能 機械音声による読み上げ機能がある タッチペンによる書き込みができる
短所	<ul style="list-style-type: none"> 視力や姿勢の悪化が懸念される インターネット依存の恐れも 学習効果が十分に検証されていない

共同通信が集計したところ、導入率100%の市区町村は滋賀県を除く46都道府県の292。全1741市区町村の16・8%に当たる。学校数で見ると3万2732校中1万1737校で、35・9%に上った。青森市や松山市、福岡市といった県庁所在地のほか、千葉県柏市や東京都江東区など人口の多い自治体

でも普及。文科省が21年度実施事業で小中学校の4割に配ったことが影響した。端末配備も進んだ。公立小中高校などの端末1台当たりの児童生徒数は16年までは6人台だったが、全小中学生に端末を配備する

「GIGAスクール構想」を政府が19年12月に打ち出した後に急増し、22年3月時点では0・9人となった。デジタル教科書は図や文字を拡大し、音声や動画も視聴できるのが特徴。読み上げ機能やタッチペンによる書き込みもでき、学習方法の広がりも期待される。一方、視力低下など健康面への影響が懸念され、活用法を模索している。文科省の調査によると、教員が困ったことは「デジタル教科書を活用した教材指導方法の検討」が54・4%で最多。「紙とデジタルの使い分けが分からない」は40・4%だった。「フリリス、エラー表示された時」、「児童生徒が授業と関係ない操作に集中することがある」を不便に感じたことに選んだ教員が各5割近くいた。

設問

【1】記事の中に登場する語句の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

①併用 ②懸念 ③操作 ④依存

【2】見出しの□に当てはまる適切な3桁の値を書きなさい。

- 【3】記事の内容と合う選択肢を一つ選びなさい。
- ア 紙の教科書は無償だが、デジタル版は有償になる予定である。
 - イ デジタル教科書が100%導入されている市区町村数は全体の35.9%に上る。
 - ウ 文科省の調査によると、半数を超える教員がデジタル教科書を活用した指導法の検討に困難を感じている。
 - エ デジタル教科書は数学で先行導入され、今後、英語でも活用が期待されている。

【4】全小中学生へのパソコンやタブレット端末の配備を推進した政府の計画を何と言いますか。

【5】記事中に登場するデジタル教科書の長所を一つ取り上げ、あなたならその長所を生かしてどのように自身の学習を工夫するかを具体的に説明しなさい。